

再 評 価 書

事業名	一般国道260号南島バイパス		事業区分	道路事業	課名	道路建設課 (伊勢建設事務所)
事業概要	工 期	H4年度～H33年度	全体事業費	6,500百万円 (負担率: 国 5.5、県 4.5)		
	(下段: 前回)	H4年度～H29年度	(下段: 前回)	5,500百万円 (負担率: 国 5.5、県 4.5)		
事業目的及び内容						
<p>■当該路線の状況</p> <p>一般国道260号は、志摩市を起点として、南伊勢町・大紀町を経由し、北牟婁郡紀北町に至る延長約108kmの幹線道路です。</p> <p>当路線は、熊野灘沿岸地域を連絡する唯一の道路であり、沿線地域の産業・観光や地域間の交流に寄与するとともに、大規模災害の発生時には、避難・救助、物資の供給、諸施設の復旧等の広範な応急活動に利用される『緊急輸送道路』に指定されています。</p> <p>しかし、本事業区間は幅員が狭小であるとともに、つづら折れなどの線形不良区間であり、安全で円滑な通行に支障をきたしています。特に榎柄浦集落内では普通車でも対向ができない未改良区間であり、信号処理による交互通行(通称: 3分間信号)となっています。</p>						
<p>■事業目的</p> <p>幅員狭小や線形不良の区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を図るとともに、緊急輸送道路としての機能強化を図ります。</p>						
<p>■事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画期間 30年間 (平成4年度～平成33年度) ・全体事業費 6,500百万円 (工事費: 5,610百万円、用地費: 890百万円) ・計画延長 L=3,470m (起点) 度会郡南伊勢町道方～(終点) 度会郡南伊勢町東宮 ・幅 員 W=6.0(11.0)m ・主要構造物 トンネル 2本 						
事業主体の再評価結果						
<p>1 再評価を行った理由</p> <p>平成23年度に再評価を実施後、一定期間(5年)が経過し、事業継続中であるため、三重県公共事業再評価実施要綱第2条(3)に基づき再評価を行いました。</p>						
<p>2 事業の進捗状況と今後の見込み</p> <p>2-1 事業の進捗状況</p> <p>① 平成27年度末の事業進捗率は、92%(工事91%、用地96%)となっています。</p> <p>② これまでに、1,100mを供用し、平成28年度末には、施工中の1,280mが供用予定です。</p> <p>③ 全体事業費は、トンネル補強工や法面対策工の追加が必要となったため、65億円としました。</p> <p>④ ③の変更に伴い、完了予定年度を平成33年度としました。</p> <p>2-2 今後の見込み</p> <p>平成33年度の全線供用に向け事業を推進します。</p>						
<p>3 事業を巡る社会経済状況等の変化</p> <p>当該路線は、南伊勢町の行政機能を分担する南勢庁舎と南島庁舎を結ぶ唯一の幹線道路であり、緊急輸送道路の指定を受けています。このことから、当該事業の必要性に変化はありません。</p>						

4 事業採択時の費用対効果分析の要因の変化、地元の意向の変化等

4-1 費用対効果分析

○事業区間全体の費用対効果分析の結果は、

走行時間短縮便益 97.8億円

走行経費減少便益 3.4億円

交通事故減少便益 0.2億円

総便益 101.4億円

総費用 87.0億円

費用便益比は「1.2」となります。

4-2 その他の効果

○地場産業への支援

県内一の水揚げを誇る奈屋浦漁港より運搬する大型活魚車が迂回を余儀なくされています。整備により当バイパスを利用しての搬送が可能になると、走行距離の短縮や通行料金の縮減や安全性の向上などにより、輸送コストの削減やドライバーのストレス軽減の効果など、地場産業への支援につながります。

○住民の安心安全の確保

当バイパスの整備より、信号による交互通行区間の解消など走行時間が短縮されるとともに、つづら折れなど線形不良区間が解消され安全で円滑な通行が確保でき、1分1秒を争う救急救命時における時間短縮と走行の安定性が図られます。

また、現道では通過交通がバイパスを通行することで、現道を通行する車両が少なくなり事故が減少するなど、安全性の向上が期待されます。

これらにより、住民の安心安全の確保につながります。

○防災機能の確保

現道は、津波による浸水被害などの危険性を有しており、山側へのバイパスの整備により、津波等の被災時の救助や復旧支援に寄与します。

また、南伊勢町において、道路整備にあわせバイパス隣接地（4箇所）が一次避難地に指定されるなど、地域の防災機能の確保が進められています。

さらに、道路整備にあたり避難地や高台により早く避難ができるように、南伊勢町と協議・調整のうえ避難階段を整備しています。

4-3 地元の意向

当区間は小学校や南島メディカルセンターが位置する地域の要所ですが、幅員狭小や線形不良により大変な不便を強いられているとして、南伊勢町などから早期供用を強く要望されています。

5 コスト削減の可能性や代替案立案の可能性

5-1 コスト削減

トンネル照明は、最新の照明器具を導入し、維持コストの削減を図ります。

5-2 代替案

事業の進捗状況や周辺の地形・土地利用状況から、代替案はありません。

再評価の経緯

当事業は、平成4年度に事業着手し、これまでに平成13年度、平成18年度、平成23年度に再評価を実施しています。

平成23年度の再評価において、事業の妥当性が認められたことから事業継続を了承されています。なお、「災害時における活用について南伊勢町とともに対応されたい」との意見をいただいています。

事業主体の対応方針

三重県公共事業再評価実施要綱第3条の視点を踏まえて再評価を行った結果、同要綱第5条1項に該当すると判断されるため当事業を継続したいと考えています。